平成２７年１１月１０日　No.４８

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒252-0239 相模原市中央区中央 3 丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sagamihara-kng.ed.jp

ともに見つめ、ともに創る
子どもの未来

第４９回相模原市教育研究発表大会　報告

平成２７年８月１９日（水）に「ともに見つめ、ともに創る子どもの未来」をテーマに、 第４９回教育研究発表大会を開催しました。

午前中は相模原市民会館ホールにて全体会と記念講演会を行い、午後は総合学習センターほか周辺１０会場に分かれて分科会を行いました。猛暑の中、全体会・記念講演会には 924 名、分科会には 1,125 名の参加がありました。

◆◆◆　全　体　会　◆◆◆

市内の教育に携わる来賓の方々をお迎えして全体会を開催しました。

主催者を代表して岡本教育長から、日頃より本市の子どもたちのためにご尽力いただいていることへの感謝の意と、「学校、家庭、地域、様々な教育機関の連携と協力をさらに深め、２１世紀を豊かに生きる子どもたちの育成、さがみはら教育の発展につながるよう願っています。」との挨拶がありました。

◆◆◆　記　念　講　演　会　◆◆◆

講師に近藤欽司氏〔(株）サンリツ卓球部総監督、日本卓球協会前ナショナルチーム女子監督〕をお迎えし、「心の器を大きく強く」というテーマで、ご講演いただきました。

まずは、ＤＶＤで、北京オリンピックでの福原愛選手、平野早矢香選手の活躍を見ながら、監督としてどのように接してきたかをお話いただきました。「二人とも日本を代表する女子卓球会の選手ではあるが、各々個性がありタイプが違う。その選手に合った指導や言葉かけが大切です。」と話されました。その後、卓球の指導者として大切にしてこられた三つのことを中心にお話いただきました。

一つめは「技術よりもむしろ選手の心を育てること」、二つめは「指導者自身が言葉の力をはぐくむこと」、三つめは「型にはめず長所を伸ばすよう指導すること」です。「人を育てる」ことの奥深さをあらためて感じさせられた２時間の講演でした。

◆◆◆　分　科　会　◆◆◆

午後はテーマ別に１０会場に分かれ、研究発表と協議が行われました。

市立小中学校の教職員をはじめ、公民館や幼稚園、青少年相談員、市民の方々など、たくさんの方々のご参加をいただきました。

どの発表も子どもたちの健やかな成長を目指し積極的に取り組まれた研究・研修の成果や、教育実践の報告でした。発表をもとに協議を行うなかで、さまざまな教育分野の方が交流し合い、お互いの役割や活動を理解し、連携・協力を深める場となりました。

市民大学５０周年記念講演会

平成２７年7月２５日（土）に相模女子大学マーガレットホールで「市民大学５０周年記念講演会」を開催しました。

相模女子大学名誉教授　神谷吉行氏を講師としてお迎えし、「相模の伝承文芸～小栗照手譚前後～」をテーマに、小栗判官や照手姫の伝説の世界を考える内容で話されました。

小栗判官や照手姫伝説伝承地が市内にあり、市民に身近なテーマであることから、感慨深いものがありました。そして、市にゆかりのある貴重な民話について、もっと知りたいと思える講演会でした。

当日は猛暑日にもかかわらず、７６名の参加がありました。

平成２７年度研究機関等公開講座

外務省研修所コース＜７月３０日（木）実施＞
「Enjoy！地球の旅人　～情熱の国スペイン～」

前スペイン国駐箚特命全権大使、現在は外務省研修所の所長である佐藤悟氏に、スペインでの暮らしや文化を中心に講義をしていただきました。

東京国立近代美術館フィルムセンターコース＜１０月９日（金）実施＞
「映像遺産の保存と活用－相模原市関連の古いニュース映画を見ながら－」

懐かしい相模原市の映像を見ながら、映像遺産の保存と活用の重要性と、その役割を担っているフィルムセンターについて解説を受けました。

学社連携・協働の動き

本事業も３年目となり、地区ごとに特色ある活動を展開できるように工夫しているコーディネーターの様子を取材させていただきました。

＜地域のコミュニケーションの拠点づくり＞

上九沢団地の公共スペースにある「くすのき広場」は、子どもの育ちを地域で見守ることを意図して昨年７月に立ち上げられました。月２回の開催日には、多くの小学生が集まって、遊んだり、学習したり、安心して過ごせる放課後の『居場所』となっています。ボランティアとしてかかわるのは地域のさまざまな大人の方や大学生が中心ですが、部活動のない日に中学生も参加できるように内出中学校の中里コーディネーターは、中学校へ声かけを行っています。また、定期的に周辺の清掃活動を行ったり、地域の指導者を講師として竹細工づくり等を行ったり、地域の方々に輪を広げながらコミュニケーションの拠点づくりに取り組んでいます。

＜職業体験-事業所との信頼関係づくり-＞

東林中学校では１１月に「ＴＯＲＩＮトライやる」で約１５０名の２年生が３日間の職業体験を行います。コーディネーターの豊内さんと5名のボランティアコーディネーターは、生徒が希望する事業所で体験ができるように、学校の職員と手分けをして約８０ヶ所の事業所を回っています。この日は校長先生と一緒に、初めてお世話になる保育園へ挨拶に行きました。ここでの情報交換が、学校と事業所の信頼関係づくりに大きく影響していると感じました。学校だけではできない部分をコーディネーターがしっかりサポートして、子どもたちがよりよい体験ができるような学校づくりに貢献している姿を見せていただきました。

タブレットＰＣを利活用した楽しく分かる授業を　①
～　特別支援学級導入機器編　～

総合学習センターでは、特別支援学級で活用が図れるようにパソコンやプリンタの導入・更新を行っています。平成２５年度より、特別支援学級用にタブレットＰＣ導入を開始しました。本年度も２１校に４９台を導入し、計７９校で１６４台のタブレットＰＣが活用されています。

子どもたちの主な活用方法としては、インターネットの閲覧画面やカメラ機能を使って撮影した画像・動画等を、教室の大型ＴＶに提示（今年度より無線接続）してみんなで共有しています。

また、無料アプリケーションのダウンロードにより、子どもたちがドリル教材等で学習しています。

先生方については、各校のコンピュータアドバイザーから導入研修を受けたり、おすすめのアプリケーション等の質問を適宜行えたりと、タブレットＰＣを理解した上で活用が図れるような環境を整えています。

大型ＴＶに転送することで、撮影した動画を見ることができます。

一人で操作が簡単にできます。

グループで意見を出し合うことができます。

今回紹介した導入機器以外にも、様々なＩＣＴ機器が各学校に導入され、授業で活用されています。詳しくお知りになりたい方は、学習情報班（７５４－２５７７）までご連絡ください。

目の不自由な人のパソコン体験講座を開催しました！

９月２６日（土）、目の不自由な人とそのご家族を対象にパソコンの音声ソフトを使ったインターネットの読み上げの体験や、図書ＣＤ読み上げ機器の操作体験を、障害者・高齢者パソコンボランティア団体「パラボラ相模原」の協力のもと行いました。

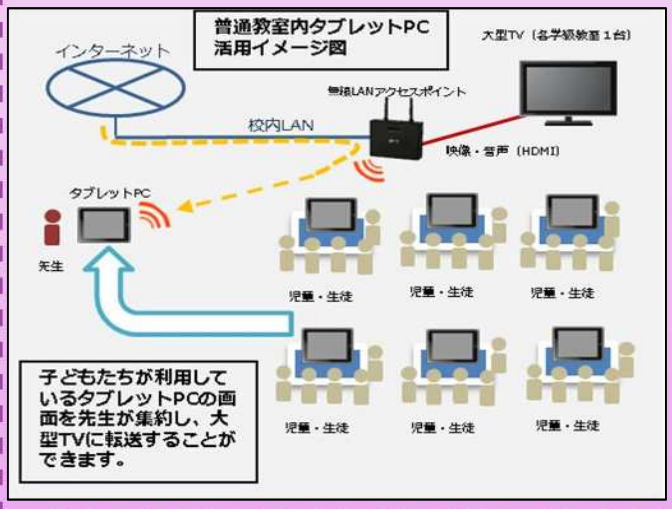
今後も、パソコンや、スマートフォン等を使って、その利便性や活用方法などを紹介していきます。

次回の講座は、平成２８年２月下旬または３月上旬を予定しています。パソコン初心者の方も、お気軽にお申し込みください。

タブレットＰＣを利活用した楽しく分かる授業を　②
～　普通教室導入機器編　～

総合学習センターでは、ＩＣＴ機器を利活用した授業改善が図れるように各種機器の導入・更新を行っています。平成２５年度より、タブレットＰＣの導入を開始し、４２７台のタブレットＰＣが小学校６２校、中学校２校で活躍しています。同時にアクセスポイントや転送機を導入し、先生が使うタブレットＰＣの画像等を、大型ＴＶに「無線で手軽に提示」することができます。

また、昨年度より、授業支援ソフトを導入し、子どもたちが小グループで作成した資料も、大型ＴＶに「一斉提示」することができるようになりました。



第７期

さがみはらの未来をひらく教育考房

さがみ風っ子教師塾

チャレンジコース！ ～相模原の先生を目指して～

１０月３日（土）開講！

「相模原で教師になりたい」という学生や社会人など５７名が入塾しました。３月まで６ヶ月間教師塾での実践的な学びをとおして、教職への熱い思いをさらに高め、教師として必要な力を付けていってほしいと願っています。

☆開講式では、的川塾長、岡本教育長から、激励の言葉をいただきました。式後に的川塾長の講話、午後は劇団扉座による演習を行いました。

スキルアップコース！ ～さらに教師力アップ～

８月からスタートしたスキルアップコースでは、「教師としての力をさらに高めたい」と情熱をもった現職の教師１１名が学びを深めていきます。

第３回
【スポーツから学ぶ人を育てるすばらしさ】

ホームタウンチームノジマ相模原ライズのチームマネジメントから人材育成の重要さや大切さを学びました。

第４回　【忘れない　伝えたい　東日本大震災の記憶と人の絆】

相模女子大学被災地支援ボランティアの学生、相模原市被災地交流職員から、人と人とのつながりや復興支援に対する思いの深さを学びました。

☆スキルアップコースでの学びを日々の教育活動に活かしていきます。今後、塾生自身が教師としてのスキルを高めていく内容を企画立案していきます。

さがみはら教育

Ｎｏ.１５９号を発行しました。

「さがみはら教育」は総合学習センターが発行している教育情報誌です。本号では、「学びを実感!!」～その授業づくりに向けて～をテーマとし、「目標（めあて）」「話し合う活動」「振り返り」について取り上げ、各学校で実践している取り組みを交えながら、子どもが「学びを実感」する授業づくりについて提案をしています。

相模原市の子どもたち一人ひとりが、楽しく、いきいきと学ぶことを願い編集いたしました。

総合学習センターや行政資料コーナー等で販売中です。

ぜひ、ご一読ください。

教職員研修　市民公開講座

総合学習センターで実施している教職員の研修の中には、市民の方々にも参加いただける講座があります。その中から今回は、１０月６日（火）に行った講座をご紹介します。

○講座名：「養護教諭１０年経験者研修講座」
「学校栄養職員フォローアップ研修講座」
○内容：食物アレルギー（アナフィラキシー）への対応
○講師：独立行政法人国立病院機構相模原病院

食物アレルギーの概要や症状、対応などについての講義や、練習用のエピペン※を使って実際に打ってみたり、事例をもとにどう対応するかについて考えたりする演習をとおして、食物アレルギーの基礎知識とアナフィラキシー対策について学びました。

※エピペン　…　アレルギー症状を緩和させる自分で打つ注射のこと